



The imperial ceremony upon the completion of the Imperial Mausoleum for the late emperor, Taisho, at Tama, suburb of Tokyo, was held in solemnity on December 23rd, 1927.

**大正天皇の御陵たる多摩陵の御造營工事は昭和二年十二月二十三日に完成報告祭を舉行された。**

多摩陵は新陵墓令發布後最初の御工事で、上圓にして下方、其下方は三段の石積になつてをる。

玄宮の圓形コンクリート工事は昨年の中にも最も周到なる注意を以て施工せられ、特に高級セメントを使用された。御陵工事は宮内省内匠寮工務課にて設計され、工務課長北村耕造氏、御造營主任技師森泰治氏等監督の下に、工事施工は大林組の松井清足氏等自ら奉仕し、混凝土工事及びセメントに関しては東京帝大の佐野利器博士及び永井彰一郎教授等が顧問であつた。